

研修員's VOICE

Vol. 9

世界各国からJICA沖縄にやって来た
研修員を紹介しています。



JICA沖縄は人種、民族、
宗教に関係なく、皆を歓迎し
てくれるところですね。地域
の方々の心のこもった暖か
い友情にも感謝です。

氏名: Mr. PIANG Rasul Salido (ピアンさん)

国名: フィリピン共和国 

コース名: 道路維持管理 (C)

滞在期間: 2017年11月15日 - 2017年12月23日

フィリピンってどんな国ですか？

面積約30万km²、人口約1億人の熱帯気候のフィリピンは、7,641もの島で構成される島嶼国で、ルソン、ヴィサヤ、ミンダナオの3つの主要な島群に分かれています。東南アジア唯一のキリスト教国で国民の90%はクリスチャンですが、私の出身地であるミンダナオ島のムスリム・ミンダナオ自治区 (ARMM) はイスラム教徒が暮らす5つの州と2つの都市で構成される自治区域で、独自の歴史と文化を持つところです。



ミンダナオ島にあるフィリピン最大のグラントモスク



東名高速道路トンネル工場の現場見学

今回の研修の目的は？

日本の道路/橋梁の管理技術や現場での知識を学ぶため、研修に参加しました。研修ではドローンによる空撮測量や様々な路面舗装、法面保護技術、警報装置、入札制度、他にも多くのことを学びました。日本の道路整備技術はフィリピン、特にARMM自治区に比べ非常に進んでいますが、将来私の所属する組織にプロジェクト実施の機会があれば、今回学んだ技術と同様の質の道路や橋の維持管理を目指したいと思います。

日本で印象に残っていることは？

私にとって今回が初めての海外経験ですが、本当に素晴らしいものになりました。日本での生活は、毎日新しい学びがあり、新しい冒険であり、新しい経験や新しい友だちで満たされています。プロの土木技師としては、日本の近代的な構造、インフラ、交通機関、そして日本の技術が大変印象的です。今回の素晴らしい経験をフィリピンの家族や同僚に共有したいです。



研修コースの関係者と研修員での懇親会